



令和7年度 さいたま市立土呂中学校 学校だより

見沼のほとり

第 8 号
令和7年12月1日

学校教育目標 主体的に生きる人間の育成 《意欲・健康・豊かな心》

30周年を迎えて

校 長 金子 慎一郎



枯れ葉舞い散る季節となりました。2学期の行事も一つずつ実施され学期末に近づいてまいりました。先月11月18日に本校は創立30周年を迎え、周年行事実行委員会の皆様のご尽力により歴代の校長先生をはじめ、学校運営協議委員の皆様に御臨席いただきながら30周年記念式典を盛大に挙行することができました。式典は第1部と第2部に分かれ、厳粛な第1部とミニコンサートやクイズ、全員での合唱等を行った第2部で実施し、中でも合唱では式場が一体となって盛り上りました。学校長式辞の中でもふれましたが、開校当時に植樹された樹木が立派に成長し、春には色とりどりの花が咲き誇り、秋には紅葉が美しく彩ります。このような自然環境は、学習や生活に潤いを与える、落ち着いた雰囲気の中で教育活動を行うことを可能にしています。

土呂中学校は、開校した当時の平成8年には全校生徒432名、全学年4クラスの12学級で大砂土中、植竹中、泰平中より分離独立して開校されました。2・3年生は大砂土中や泰平中等からの転入、1年生は近隣の小学校からの入学をして新学期を迎えたそうです。その後落成記念式典を11月18日に挙行し、校歌・校旗・校章が制定されこの日を開校記念日と定めました。平成17年（2005年）に創立10周年記念行事が開催されました。「心の教育モデル校」の委嘱を受け、啓発看板として「We Love 土呂中」、「元気なあいさつ きれいな学校」という看板が設置され、この年に自校給食も開始されました。さらに平成27年（2015年）に20周年記念行事が開催されました。この年から10年間の間に社会では様々な出来事がありました。天皇陛下の退位と令和への改元、新型コロナウイルス感染拡大、初の緊急事態宣言、ロシアによるウクライナ侵攻、新型コロナが「5類」へ移行、大阪・関西万博開幕等、予測が困難な出来事もありました。そこで、30周年記念行事では、地域と共にこれから日々を歩んでいくことを願って、生徒から新たなキャッチフレーズを募集しました。生徒は土呂中学校が大好きで、「We Love 土呂中」と「未来へ羽ばたく 大きな希望」が採用され、看板となって昇降口に掲示されています。このフレーズには「将来の夢をもって、目標に向かって頑張ってほしい」という願いが込められていますので、保護者のみなさまも本校に来校された際はぜひご覧になっていただければと思います。



これからの中10年間に向けて、3年生は自分の進路を考え勉強に励んでください。1・2年生は先輩方から受け継いでいる土呂中愛を継承して、学業・部活動等と一緒に取り組み歩んでいきましょう。